

6

消化管疾患2: 腹痛をきたす 大腸・虫垂疾患

若杉 聡

亀田総合病院 消化器診断科 部長

Point ① 腹痛をきたす大腸疾患の臨床的特徴と、超音波画像を理解する。

Point ② 虫垂周囲の超音波画像、虫垂の描出方法を理解する。

Point ③ 大腸憩室炎の臨床的特徴、超音波画像を理解する。

Point ④ 大腸炎の臨床的特徴、病変の分布と画像により、疾患を鑑別できるようになる。

はじめに

腹痛を主訴として救急外来に来院する症例は多い。そのなかで大腸疾患の頻度は高く、早急な処置が必要なものから、外来で加療が可能なものまで多岐にわたる。本章では、腹痛をきたす主な大腸疾患の臨床的特徴と、超音波画像を中心に解説する。

ただし、超音波検査の技術に習熟するには長い時間が必要である。研修医は、詳細な問診結果、身体所見、血液検査所見から、考えられる疾患を絞りこんだうえで超音波検査を行い、必要な部位を観察することが望ましい。よって系統的な大腸の走査法については成書を参照してほしい。

1. 急性虫垂炎

急性虫垂炎は「心窩部から痛みが始まり、続いて悪心が出現し、次第に右下腹部に痛みが移動し、その後嘔吐と発熱を伴う。食欲はなく、歩くと痛みが響く」というのが典型的な症状である。しかし、このような典型的経過を示す例は成人でも50%にすぎないといわれており、小児ではさらに典型的な症状に乏しい。また、小児は腸間膜や大網の発達が不十分なため、虫垂炎が周囲組織に波及しやすく、穿孔すると容易に汎発性腹膜炎を生じるといわれている。そのため、腹痛患者を診察する場合は、常に虫垂炎を念頭に置くことが重要である。また、典型的な症状がなくても、従来から報告されている虫垂炎の所見である McBurney の圧痛点、Lanz の圧痛点、Rosenstein 徴候、Rovsing 徴候など、虫垂炎に特徴的な腹部所見の有無、血液検査での白血球数の増加、CRP 値の上昇の有無は重要であり、これらの所見を丹念に調べたうえで超音波検査を行うことが望ましい。腫大した虫垂を直接描出できる超音波検査は、診断のうえで重要であることはいままでもない。

症例1 44歳の男性

〔現病歴〕約3週間前に心窩部痛を訴え、様子を見ていたが、2～3日で右下腹部に痛みが移動した。近



図1 症例1：蜂窩織炎性虫垂炎
A：超音波検査像である。右下腹部横走査で回盲部を描出した。腫大した虫垂が指摘できる。虫垂壁の第3層（リンパ濾胞を除く粘膜下層）の肥厚像を認め、蜂窩織炎性虫垂炎を疑う。
B：腫大した虫垂（→）を腹腔鏡下で摘出している像である。
C：ルーペ像では虫垂全層に好中球浸潤を認め、粘膜下層の線維化も認め、蜂窩織炎性虫垂炎の所見である。

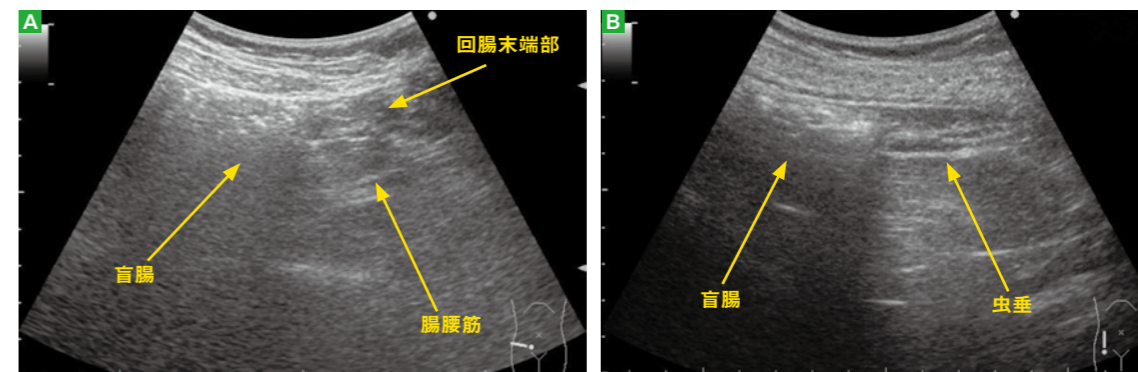


図2 回盲部の描出方法
A：右総腸骨動脈を骨盤腔まで追跡すると、腸腰筋の腹側を走行する回腸末端部が同定できる。回腸末端部が同定できたら、盲腸への合流部（回盲弁）を観察する。
B：盲腸が同定できたら、回盲弁より足側の内側～後内側を根部にした虫垂が描出できる。

医で虫垂炎を疑われ、抗生物質を内服処方された。痛みは一時軽減したが、次第に増強したため、当院救急外来を受診して入院となった。

〔検査所見〕初診時はCRP 2.87 mg/dlと上昇していた。超音波検査では最大横径8.5 mmと腫大した虫垂を認めた（図1A）。虫垂壁は5層構造に描出され、第3層（リンパ濾胞を除く粘膜下層に相当）が肥厚していた。図1B・Cにその術中写真とルーペ像を示す。虫垂はおおむね層構造が保たれていたが、全層に好中球の浸潤を認め、粘膜下層に膠原線維の増生を認めた。

〔診断〕蜂窩織炎性虫垂炎と診断した。

虫垂の描出方法

虫垂を描出する前に、まず回盲部を描出することを心がける。上腹部正中横走査で大動脈と下大静脈を同定し

て、これらを下方に追跡すると、臍のレベルで大動脈と下大静脈が左右の総腸骨動脈に分岐する。ここからさらに右総腸骨動脈を右下腹部に追跡する。この際、腸管のガスなどで右総腸骨動脈を見失いやすい場合は、カラードプラ検査を利用するとよい。右総腸骨動脈が腸腰筋に接する部位で、これらの腹側を横切る腸管が同定できる（図2A）。これが回腸末端部である。回腸末端部を外側（右側）に追跡すると、回盲部が同定できる。回盲部から足側に盲腸を追跡すると、盲腸の内側～後内側を根部として、右腸骨動脈に向かって虫垂が描出されることが多い（図2B）。ただし、虫垂は根部を中心に種々の角度で走行することが多く¹⁾、それぞれの位置にある虫垂がどのように描出されるかを理解していることが重要である。図3に虫垂の描出方法をシェーマにして示す²⁾。

描出された管腔構造が虫垂かどうかは、①蠕動を認めない、②盲端に終わる、などから判断する。なお、高周波探